

地震

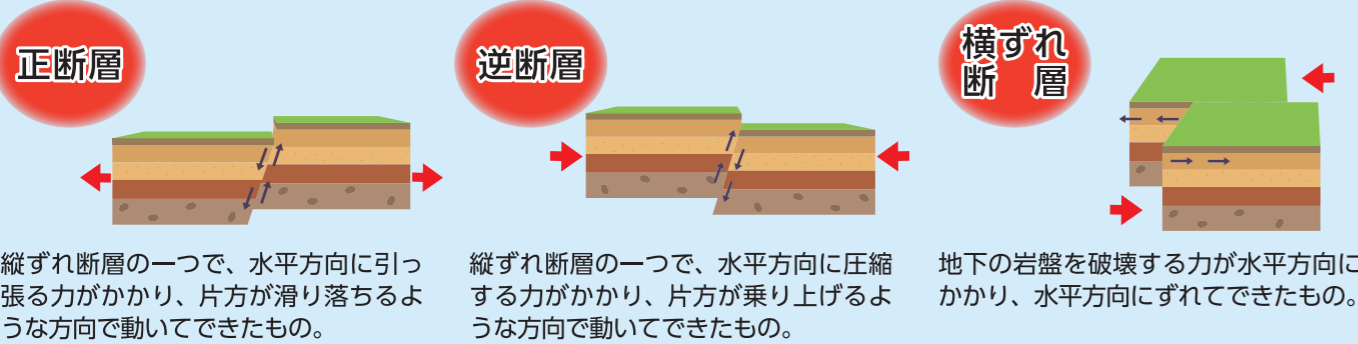
地震発生の仕組み

地震は地下の岩盤に力が加わり、ある面（断層面）を境にして両側の岩盤がずれ動く断層運動により発生します。プレートの沈み込みにより、岩盤は次第に変形し、ひずみという形でエネルギーが蓄積されますが、ひずみが限界に達すると岩盤の破壊（地震）が起こり、蓄えられていたエネルギーが地震波となって放出されます。この地震波が地中を伝わり、地面を揺らすことになります。

日本周辺で発生する地震は、活断層の活動による「内陸型地震」と「海溝型地震」に大別することができます。

内陸型地震の発生

過去の地震により生じた断層（活断層）が動いて起こる地震で、陸側のプレート内で発生します。規模は海溝型地震より小さいものの、震源が浅く、都市の直下で発生した場合は甚大な被害が予想されます。



震度の違いでどのようになるの？（気象庁震度階級表より）

震度 4

ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。
【屋内の状況】 電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。
【屋外の状況】 電線が大きく揺れる。自転車を運転していて、揺れに気付く人がいる。

震度 5弱

大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
【屋内の状況】 電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
【屋外の状況】 まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。

震度 5強

大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
【屋内の状況】 棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。
【屋外の状況】 窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。

震度 6弱

立っていることが困難になる。
【屋内の状況】 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
【屋外の状況】 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

震度 6強

立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
【屋内の状況】 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。
【屋外の状況】 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。

震度 7

立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
【屋内の状況】 固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。
【屋外の状況】 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されていないブロック塀も破損するものがある。
過去に最大震度7を記録した地震
 H7.1.17 阪神・淡路大震災、H16.10.23 新潟県中越地震、H23.3.11 東日本大震災、H28.4.14 熊本地震、H30.9.6 北海道胆振東部地震、R6.1.1 能登半島地震

被害防止のために、対策をする！

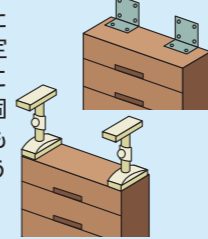
- ① 上層階ほど家具の転倒率が高い
- ② 硬い床よりも柔らかい床（フローリングよりも絨毯や畳）においた家具の方が転倒率が高い
- ③ 奥行きが浅くて背が高い家具の方が転倒率が高い

これらのケースに当てはまる場合、特に重複している場合には、早めに対策をしましょう。

家具の転倒や落下を防ぐポイント

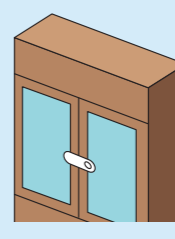
家具 金具などで家具を固定しよう

家具は、転倒防止のためL字金具で壁に固定するか、天井との間に突っ張り棒を入れて固定しましょう。重いものを下に収納するようにしましょう。



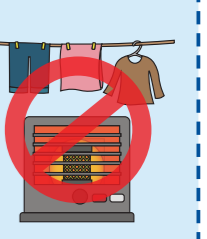
食器棚 飛び出しを防止しよう

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートや布巾などを敷きましょう。また、観音開きの扉の食器棚等には解放防止金具を取り付けましょう。



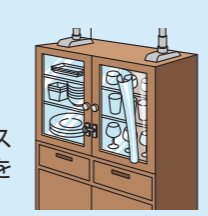
ストーブ 火の周りの安全に配慮しよう

ストーブの周りには燃えやすいものは置かないように日ごろから注意しましょう。また、できるだけ耐震自動消火装置付きのものを使うようにしましょう。



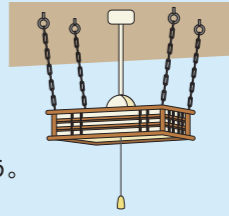
ガラス 飛散防止対策をしよう

戸棚のガラスや窓ガラスには飛散防止フィルムを張りましょう。

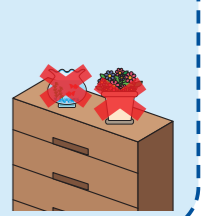


照明器具 鎖と金具で固定しよう

鎖と金具を使って数箇所止めましょう。

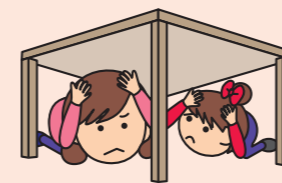


棚 危険なものは置かないようにしましょう。割れやすいものや重たいものを棚の上に置かないようにしましょう。



地震発生!! その時どうする? 慌てずに行動しよう!

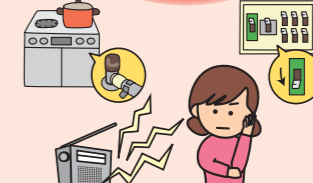
地震発生



揺れが収まったら



数分後



数十分後



1 まず身の安全の確保をしましょう。

2 火の元を確認しましょう。家族の安全を確認しましょう。

3 ドアや窓を開けて脱出口を確保しましょう。

4 非常持ち出し品を準備しましょう。

5 ラジオなどで正しい情報を収集しましょう。家屋倒壊などのおそれがあれば避難しましょう。

6 家を出る前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーをきりましょう。

7 地震に対応した一次避難場所に集合し、家族や隣近所と安否の確認をしましょう。

8 救助が必要な場合は、みんな力で合わせて救出救助しましょう。

木造住宅の耐震診断 ●対象となる住宅

筑北村では、地震による住宅の倒壊から被害を少なくするため、木造住宅耐震診断、耐震補強工事補助事業を行っています。自分の家の地震に対する強さを確認し、必要に応じて、耐震補強工事を行うことが大切になります。

個人所有の住宅で昭和56年5月31日以前に着工された木造在来工法のもの。（ツーバイフォー、木材プレハブ、丸太組み、非木造の住宅、長屋・共同住宅は対象になりません。）診断に対する自己負担はありません。（令和6年1月現在）

お問い合わせ先：建設課 TEL. 0263-66-2111